

# 図書館だより

武雄高等学校図書館 図書指導部  
令和4年1月24日 発行  
No. 9

新年が明け、半月が過ぎました。

何かと慌ただしく感じられる3学期がスタートしました。

それぞれに気持ちを新たに新しい年を迎えたことと思います。

大学共通テストを終えた3年生は、私大入試・国公立大学2次試験に向けてラストスパートです。

図書館では、令和2年度の国公立大学2次試験入試出典を新刊にて入れています。興味がある人は、一度読んでみませんか。

## ◆大学入試出典(前期二次試験)紹介◆

『宮沢賢治—テクノポ—の叢知』

今福 龍太【著】

九州大学(文学部)  
現代文で出典\*



ほとんどの作品を「未定稿」のまま遺した宮沢賢治。

生涯にわたり書き換え続けられたその手稿が示す「揺らぎ」と可能性を丹念に追うなかで、賢治世界=イーハトーブのまったく新しい姿が見えてきた。

石、風、火山、動物などの実在物や、心象、未完といった構造に隠された賢治の創造原理を解き明かし、いまを生きる私たちの「倫理」を問う、画期的批評。

『抽象の力—近代芸術の解析』

岡崎 乾二郎【著】

\*広島大学  
(文・教育学部)  
現代文で出典\*



20世紀美術を動かした  
真の芸術家たちは誰か…。

近代芸術はいかに展開したか、その根幹から把握する、  
美術史的傑作。

『はじめての沖縄』

岸 政彦【著】

\*熊本大学  
(文学部)  
現代文で出典\*



沖縄って、何だろう。

沖縄って、どういう場所なのだろう。私たちは、沖縄をどう語るのだろう。若き日に、うなされるように沖縄に恋い焦がれた。やがて研究者として沖縄に通い始める。そこで出会った不安と心細さ、はじめてみた孤独な風景。

何度でもくり返し、その風景に立ち戻りながら、沖縄で生まれ育った人びとが語る人生の語りを記録し、そこから沖縄の「歴史と構造」へと架橋する。かつてない、はじめての“沖縄本”。著者撮影の写真多数収録。

## ☆第166回 芥川賞・直木賞 受賞作が発表! ☆

1月19日に、第166回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。

芥川賞には砂川文次さんの『ブラックボックス』。

直木賞には、今村翔吾さん『塞王の盾』と米澤穂信さんの『黒牢城』がそれぞれ選ばれました。

これらの受賞作は本校図書館にも入荷しますので、乞うご期待です。

### 祝 芥川賞受賞

『ブラックボックス』(砂川文次)

都市を自転車で走り回り荷物を配達するメッセンジャーを描く労働小説。

自分の仕事に誇りを持ちつつも、社会保障もなくケガしたらクビになるかもしれないという不安定な雇用形態に苦悩する主人公の男性。

主人公の男性は自衛隊を退職後、職を転々とした経歴があり、物語の後半には主人公は自分のブラックボックス(闇)と向き合うこととなります。



### 祝 直木賞受賞

『塞王の盾』(今村翔吾)

どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。「最強の盾」と「至高の矛」の対立を描く、  
究極の戦国小説。

『黒牢城』(米澤 穂信)

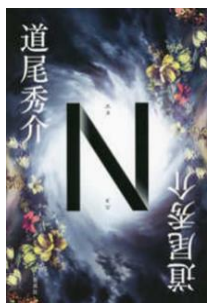
本能寺の変より四年前、天正六年の冬。

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。戦国×ミステリの新王道。



# 新刊図書案内

## 本を上下ひっくり返して楽しめる短編集。



『N』 道尾 秀介【著】  
全六章。  
読む順番で、世界が変わる。  
すべての始まりは何だったのか。  
結末はいったいどこにあるのか。  
あなた自身がつくる720通りの物語。

## 2022年本屋大賞/ミネート作品に選出。



『夜が明ける』西 加奈子【著】  
思春期から33歳になるまでの友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡を描く、再生と救済の感動作。著者5年ぶりの長篇小説。

## 『はじめて学ぶ環境倫理—未来のために「しくみ」を問う』



吉永 明弘【著】  
エコで環境はよくなるのか？  
なぜ生物の絶滅はダメなのか？  
つくられた自然は偽物か？  
身近な環境の疑問から未来に関する問題まで、考えるヒントを教えます。

## 2022年 本屋/ミネート作品に選出。 一枚の「絵画」をめぐる、五つの「愛」の物語。 『赤と青とエスキース』青山 美智子【著】



メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画」。  
日本へ渡って三十数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく。  
彼らの想いが繋がる時、驚くべき真実が現れる！  
仕掛けに満ちた傑作連作短篇。

## 『夢をつかむパワー！大谷翔平 86 のメッセージ 才能が目覚める、活かせる』児玉 光雄【著】



大谷翔平の「すごさの秘密」は？答えは一誰にでもできる日常の“心がけ”にあった！道を極める行動パターンと、その成功心理を知った瞬間君の未来は大きく変わる！

## 『漢語百題』（岸田 知子）



なにげなく使っている漢語の意外な素顔。  
漢字や漢語の裏ばなし満載。知らなかった漢語のすがたが見えてくる。五つのテーマで全百題収録。



## 【小説】



『この本を盗む者は』（深緑 野分）2021年本屋大賞 第10位

高校生の深冬は、父親が書庫の管理人で、曾祖父が本の蒐集家でしたが、本好きではありませんでした。そんななか、書庫から本が盗まれるという事件が…。

『八月の銀の雪』（伊与原 新）2021年本屋大賞 第6位

科学の揺るぎない真実が人知れず傷ついた心を救う5篇の物語。

『三千円の使いかた』（原田 ひ香）

知識が深まり、絶対「元」もとれちゃう「節約」家族小説。

『残照の頂 続・山女日記』（湊かなえ）

幅広い層に支持され「山女日記」の待望の第2弾。

『縁』（小野寺史宜）

見知らぬ人との予期せぬ「つながり」があたたかな奇跡を紡ぎ出す。

『魔眼の匣の殺人』（今村昌弘）

ミステリ-「屍人荘の殺人」シリーズ第2弾。\*寄贈にてシリーズ第3弾入荷。

『コンビニ兄弟テンダネス門司港こがね村店』（町田そのこ）

コンビニを舞台に繰り広げられる心温まるお仕事小説。

『その可能性はすでに考えた』（井上 真偽）

『神曲』（川村元気）

『英国幻視の少年たち（2）』（深沢 仁）

『阿Q正伝』（魯迅）

『ミッドナイト・サントワイライトーエドワードの物語（上）（中）（下）』（ステファニー・メイヤー）

『高い城の男』（ディック・フィリップ・キンドレッド）

## 【その他】

『実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション - 人を動かす10原則』（奥原 剛）

『漱石の地図帳 歩く・見る・読む』（中島 国彦）